

小学部1年Cグループ 国語科学習指導案

日 時：令和3年9月30日（木）10：40～11：25

場 所：小学部1年2組教室

児 童：男子2名，女子2名 計4名

指導者：石井美里T1，石戸谷潤子T2

1 単元名 だるまさんが？ ～うごきと からだの なまえを おぼえよう～

2 単元の目標（育成を目指す資質・能力）

知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
・絵本に出てくる，言葉が表す動作や表情，体の名前が分かり，問われたことに指さしや選択，言葉で答える。	・「だ・る・ま・さ・ん・が」のリズムを感じながら次の場面に期待感をもったり，登場人物の動きや表情を楽しみながら模倣したりする。	・絵本の読み聞かせや言葉の動作模倣を楽しむ中で，日常生活でも言葉や動作で伝えようとする。

3 児童と単元

(1) 児童について

4月から毎朝読み聞かせの時間を設定してきたことで，どの児童も好きな絵本を見付けたり，好きな絵本の展開を覚えたりして，自分から絵本に親しもうとする姿が増えてきた。特に，展開が分かりやすく，言葉のリズムや動きが楽しい絵本を好む児童が多く，うち3名は，教師を見て動作模倣や言語模倣を楽しみ，他1名も少しずつ動作模倣ができるようになってきた段階である。コミュニケーション力には実態差があるが，身振りやカード，指さし，簡単な言葉での応答などそれぞれが身近な教師と関わるできるようになってきた。これまでの学習でも様々な絵本を活用し，「ぎゅっ」や「足上げて」などの言葉を実際に動作化するなど，楽しみながら言葉を習得している。

(2) 単元について

本単元は，特別支援学校学習指導要領小学部国語科1段階の主にC読むこと「考えの形成」に関するものである。様々な動作や状態を表す言葉や体の部位を表す言葉は，日常生活の中で頻繁に使う言葉であり，「頭が痛い」など自分の状態を伝えたり，手洗いや歯磨きの場面で「ごしごし」の言葉で動きを促したりなど，いろいろな場面で使う。本単元では，児童の好きな『だるまさんが』と『だるまさんの』の絵本を活用し，動作や状態，体の部位を表すいろいろな言葉を知ったり，言葉が表す動作を模倣したりして，言葉から動作や表情などをイメージする力や言葉や動作で表現する力を身に付ける。また，言葉のリズムや登場人物の動作模倣を楽しむ活動を通して「次はどうなる？」という期待感をもったり，「やってみよう」という表現意欲が高まったりすることを期待する。絵本に出てくる言葉以外にも「もぐもぐ」や「ごしごし」など児童が生活でよく耳にする言葉と絵を取り入れたり，児童によっては，「どてっ」から「えーん」や「いたい」などの動作から次に起こりうる状態を思い浮かべたりする活動も取り入れたりして，より言葉からのイメージを広げたり，日常生活で伝えたりする力につなげていきたい。

(3) 指導について

本校の研究主題「見える化で『分かった』『できた』『もっと知りたい』が高まる授業づくり」に迫るために、本単元では、次の具体的な取組を実践していく。

① 単元構成・授業展開について

- ・児童がなじみのある『だるまさんが』『だるまさんの』の絵本を活用し、絵がない状態から文字への注目を促したり、言葉が表す動作や状態、体の部位の名称と絵が一致したりできるようにする。また、個人の活動と全体で見合ったり、動作模倣を楽しんだりする活動を組み合わせながら、めりはりのある授業を展開する。
- ・児童の動作模倣や音声模倣を引き出すために、絵本の読み方を工夫したり、児童の発語を待ったりする場面を設定する。

② 「見える化」の手立てについて

- ・学習内容が分かるように絵カードを提示する。
- ・言葉の意味が分かるように、絵で提示したり、動作で表現したりする。
- ・個々の学習過程が残るようにホワイトボードを活用し、自分で評価シールを貼ることを通して「できた」が実感できるようにする。
- ・使用する絵本を大型にし、児童が操作できるようにすることで、児童が自ら「やってみたい」という期待感をもてるようにする。
- ・みんなで注目できるように大型絵本をイーゼルに立てる。

③ 振り返りについて

- ・単元の途中で『だるまさんの』『だるまさんが』の絵本づくりを設定し、自分の好きな場面を選んだり、自分でつくった絵本を読み返したりする。
- ・振り返りの中で、完成した『だるまさんが』を声に出して読んだり、みんなで動作模倣をしたりして絵本を読む楽しさを味わう時間を設定する。
- ・自分で作った絵本を家で家族と一緒に読むなどして、できた喜びを実感できるようにする。

4 指導計画（総時数 11 時間）

時数	主な学習活動	主な目標 資質・能力 【知=知識及び技能 思=思考力, 判断力, 表現力等 学=学びに向かう力, 人間性等】	主な評価規準 観点 [方法] 【知=知識及び技能 思=思考力, 判断力, 表現力等 主=主体的に学習に取り組む態度】
1	○『だるまさんが』 ・「ぷしゅー」「びろーん」の絵を選んだり、動作模倣をした	・「ぷしゅー」や「びろーん」の言葉を読んだり聞いたりして、合う絵を選ぶ。 知 ・言葉の意味が分かり、せりふをまねたり動作化したりする。 思	・言葉と絵の意味が分かる。 知 [絵の選択, ノート] ・登場人物のせりふや動きを模倣する。 思 [つぶやきや行動等の観察]
1	○『だるまさんが』 ・「ぷっ」の絵を選んだり、「くさい」を連想したりして動作模倣をする。	・「ぷっ」の言葉を読んだり聞いたりして、絵を選ぶ。 知 ・言葉の意味が分かり、せりふをまねたり動作化したりする。 思 ・「ぷっ」から自分から「くさい」様子を連想したり、動きで表現しようとしたりする。 学	・言葉と絵の意味が分かる。 知 [絵の選択, ノート] ・登場人物のせりふや動きを模倣する。 思 [つぶやきや行動等の観察] ・絵本にない言葉や動きを自ら連想する。 主 [つぶやきや行動等の観察]

1	○『だるまさんが』 ・「どてっ」「えーん」の絵を選んだり、動作模倣をしたりする。	・「どてっ」や「えーん」の言葉を読んだり聞いたりして、合う絵を選ぶ。 知 ・絵本を見て、動作を表す言葉を答えたり、動作化したりする。 思	・言葉と絵の意味が分かる。 知 〔絵の選択、ノート〕 ・登場人物のせりふや動きを模倣する。 思 〔つぶやきや行動等の観察〕
1	○『だるまさんが』 ・「ふんぷん」「にこっ」の絵を選んだり、動作模倣をしたりする。	・「ふんぷん」や「にこっ」の言葉を読んだり聞いたりして、合う絵を選ぶ。 知 ・言葉の意味が分かり、せりふや表情をまねたりする。 思	・言葉と絵の意味が分かる。 知 〔絵の選択、ノート〕 ・登場人物のせりふや表情を模倣する。 思 〔つぶやきや行動等の観察〕
1 本時	○『だるまさんが』 ・「もぐもぐ」「ごしごし」の絵を選んだり、動作模倣をしたりする。	・「もぐもぐ」や「ごしごし」などの言葉を読んだり聞いたりして、合う絵を選ぶ。 知 ・絵本を見て、動作を表す言葉を答えたり、動作化したりする。 思	・言葉と絵の意味が分かる。 知 〔絵の選択、ノート〕 ・登場人物のせりふや動きを模倣する。 思 〔つぶやきや行動等の観察〕
2	○自分の好きな「だるまさん」を選び、絵や平仮名を使って絵本をつくる。	・平仮名に興味をもち、マッチングや並び替えをする。 知 ・自分の好きな絵やせりふを選ぶ。 思 ・自分の絵本を紹介したり、動作模倣で発表したりする。 学	・平仮名へ興味をもったり、読んだりする。 知 〔絵本づくりの行動観察、つぶやき〕 ・自分の好きな絵やせりふを選んだり、言葉で表現したりする。 思 主 〔行動観察、発表の様子〕
1	○『だるまさんの』 ・「め（目）」「て（手）」「あし（足）」の絵を選んだり、動作模倣をしたりする。	・「め」「て」「あし」を読んだり、聞いたりして、対応する自分の体の部位が分かる。 知 ・だるまや自分の体の部位を選んだり触ったりする。 思 ・「て」と既習の「ごしごし」を関連させて表現する。 学	・言葉と絵の意味が分かる。 知 〔絵の選択、ノート〕 ・絵本のせりふをまねたり、体の部位を触ったりする。 思 〔つぶやきや行動等の観察〕
1	○『だるまさんの』 ・「は（歯）」「お（尾）」「け（毛）」の絵を選んだり、動作模倣をしたりする。	・「は」「お」「け」を読んだり、聞いたりして、対応する自分の体の部位が分かる。 知 ・だるまや自分の体の部位を選んだり触ったりする。 思 ・歯ブラシやくしなど身近な道具を使って動作模倣をする。 学	・言葉と絵の意味が分かる。 知 〔絵の選択、ノート〕 ・絵本のせりふをまねたり、体の部位を触ったりする。 思 〔つぶやきや行動等の観察〕 ・身近な道具を使って「ごしごし」など既習の言葉を使って自ら表現を楽しむ。 思 主
2	○『だるまさんの』の絵や平仮名を使って絵本をつくる。	・平仮名に興味をもち、マッチングや並び替えをする。 知 ・自分の好きな絵を選んで色塗りをする。 思 ・自分の絵本を紹介したり、動作模倣で発表したりする。 学	・平仮名へ興味をもったり、読んだりする。 知 〔絵本づくりの行動観察、つぶやき〕 ・自分の好きな絵やせりふを選んだり、言葉で表現したりする。 思 主 〔行動観察、発表の様子〕

5 本時の計画（11 時間中の 5 時）

(1) 本時の目標

- ・「もぐもぐ」「ごしごし」の言葉を聞いたり読んだりして、合う絵を選ぶ。知
- ・言葉や絵から登場人物の状態が分かり、せりふや動作を模倣する。思

(2) 目標と手立て

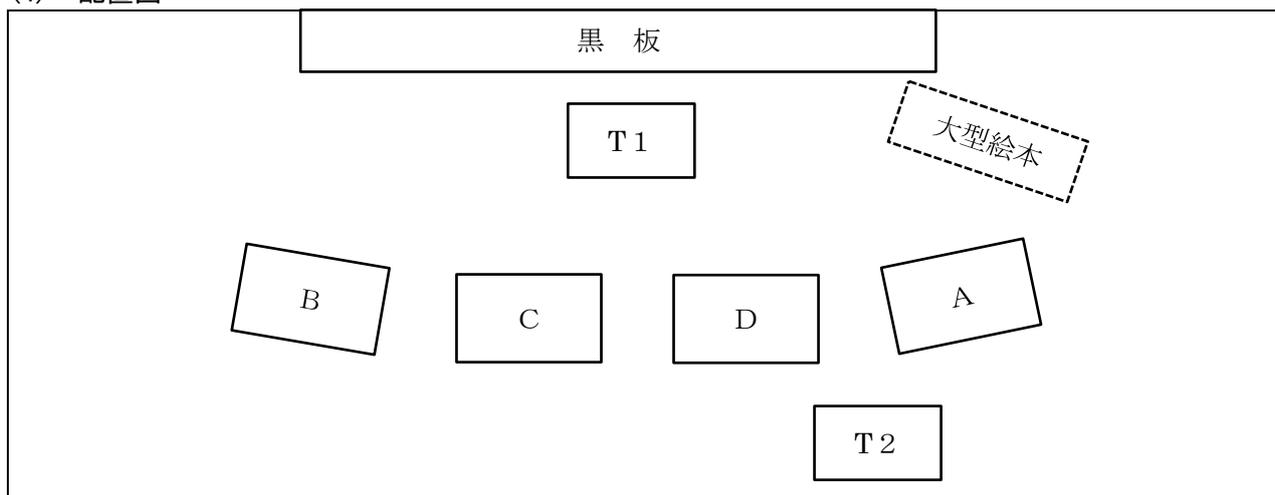
氏名 (性別)	単元の目標	本時の目標	手立て
A (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・動作や状態，体の名前を覚え，正しい絵を指さし等で伝えたり動作模倣したりする。 ・絵本の読み聞かせに注目し，教師の問い掛けに指さしや発声で応える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「もぐもぐ」「ごしごし」と聞いて正しい絵を選んだり動作模倣したりする。 ・絵本に注目したり，教師の問い掛けに指さしで答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見比べやすいように2～3種類の絵から選べるようにしたり，動作模倣を引き出す道具を用意したりする。 ・児童が自ら手を伸ばしたり，絵本に注目したりできるように，絵本に絵を貼ったり，指さしで答えたりする場面を設定する。
B (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせに注目し，動作や状態，体の名前を覚え，絵や言葉で答える。 ・絵から言葉を，言葉から絵を想起して，言葉で答えたり，動作模倣で表現したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「もぐもぐ」「ごしごし」を自分で読んで正しい絵を選んだり，動作模倣をしたりする。 ・絵本を見て，登場人物の動きをまねたり，動作を表している言葉を選んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名に注目できるように「もぐもぐ」や「ごしごし」のカードを目の前に提示したり，「これは？」と言葉を掛けたりする。 ・児童が動作模倣に気持ちが向くように「B・さ・んが」と言葉を掛けたり，動作を表す言葉カードを2枚程度提示したりする。
C (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせに注目し，動作や状態，体の名前を覚え，絵や言葉で答える。 ・登場人物の絵を見て，体の名前や動作・状態を表す言葉を考えたり，動作模倣で表現したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「もぐもぐ」「ごしごし」を読んで正しい絵を選んだり，せりふや動作を模倣したりする。 ・絵本を見て，登場人物の動きをまねたり，絵に合う言葉を考えて答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名カードに注目できるように，「これは？」や「読んでごらん」と言葉を掛ける。 ・「C・さ・ん・が」と言葉を掛けて動作模倣を促したり，絵だけを提示して「これは？」と問い掛けたりする。
D (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせに注目し，動作や状態，体の名前を覚え，絵や言葉や動作模倣で答える。 ・絵から言葉を想起し，自分の言葉で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「もぐもぐ」「ごしごし」と聞いて正しい絵を選んだり，せりふや動作を模倣したりする。 ・絵本を見ながら絵から言葉を考えて，言葉と動作で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見比べやすいように2～3種類の絵から選べるようにしたり，模倣したくなるように教師が口元や動きを大きくしたりする。 ・絵を提示して「これは？」と聞くことで，発語を促したり，「D・さ・ん・が」と言葉を掛けて動作を引き出したりする。

(3) 展開

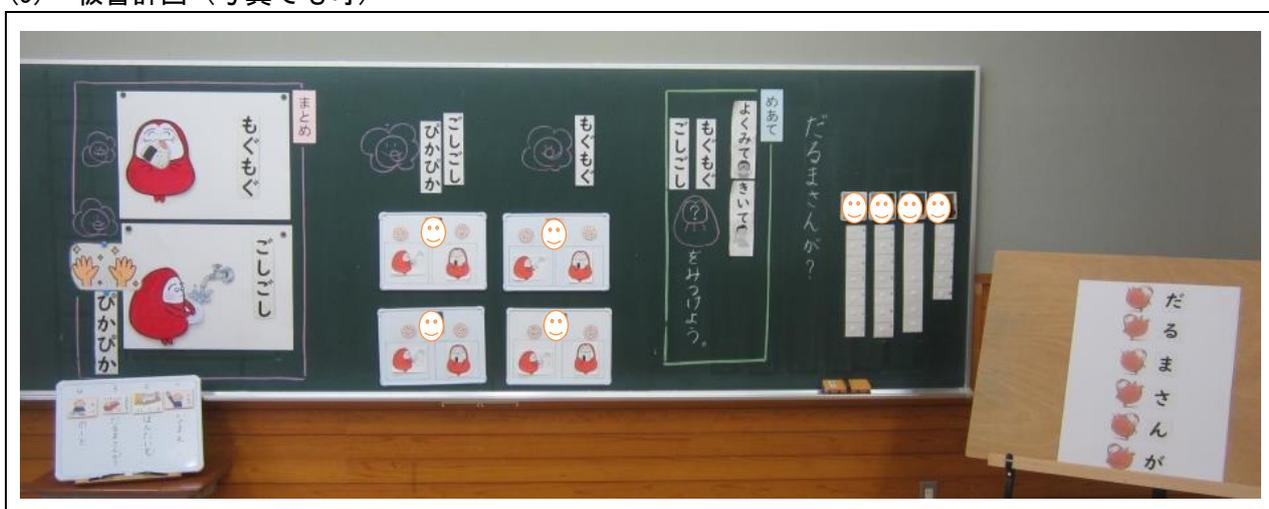
※「見える化」の手立てをゴシック体で示す。

時間	学習活動	形態	指導の上の留意点, 教師の働き掛け
10:40 5分	1 本時の学習内容を知る。 (1) 名前カードを並び替える。	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習内容が分かるように、絵カードで提示する。 ・国語の授業であることが分かるように、名前の並び替え活動をする。
10:45 5分	2 絵本の読み聞かせに応じて音声模倣や動作模倣をする。 (1) 『はーくしょん』 (2) 『だるまさんと』	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本に注目できるように声色や抑揚, 仕掛けの出し方を工夫する。 ・自ら模倣したくなるように, 同じ言葉の繰り返しや動作が楽しめる絵本を用意する。
10:50 25分	3 『だるまさんが』の大型絵本を見る。 (1) 読み聞かせに応じて, 音声や動作模倣を楽しむ。	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が次の場面を楽しみにしながら絵本に注目できるように, 操作できるオリジナルの『だるまさんが』を用意する。 ・本時のめあてが分かったり, 意欲をもったりできるように, 「もぐもぐ」「ごしごし」のページは平仮名のみを提示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 本時のめあて：よくみて・きいて 「もぐもぐ」「ごしごし」のだるまを見つけよう </div>			
	(2) 「もぐもぐ」「ごしごし」に合うだるまの絵を選ぶ。	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分で伝えたり, 答えを全員で確認したりできるように, 個人のホワイトボードを用意する。 ・A, Dについては, 「もぐもぐはどれかな」と教師が平仮名を読むことで絵を選べるようにする。 ・B, Cについては, 「もぐもぐ」の平仮名カードを提示することで絵を選べるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> まとめ：「もぐもぐ」「ごしごし」のだるまさんをみつけた </div>			
	(3) 『だるまさんが』を読む。	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを実感したり, 大型絵本の完成を共有できるように, 大型絵本を読んだり動作模倣したりする。 ・大きく動くことができるように, 立ち位置にマットを置くなどして, 立って活動できるようにする。 ・楽しんで音声模倣や動作模倣できるように, 教師が少し待ったり, おにぎりや蛇口の絵を活用したりする。
11:10 10分	4 ノートに振り返りをする。 ・「もぐもぐ」「ごしごし」の平仮名を選んだり, 絵の色塗りをしたりする。	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を確認できるように, 「もぐもぐ」と「ごしごし」を表す絵を選んだり, 平仮名に注目したりできるノートを用意する。 ・平仮名の興味につながるように, 児童の実態に合わせて, 平仮名のマッチングと並び替えを用意する。

(4) 配置図



(5) 板書計画 (写真でも可)



(6) 準備物

- ・大型絵本
- ・個人ホワイトボード×4
- ・足形マット
- ・ノート

(7) 評価の観点

- 「もぐもぐ」「ごしごし」の言葉が表す動作が分かり、合う絵を選んだり、動作模倣等で表現したりできたか。[つぶやきや行動等の観察, 振り返りのノートで評価]
- 絵本の絵を見て、動作を表す言葉を答えたり、動作模倣で表現したりできたか。[つぶやきや行動等の観察で評価]